



レゴブロックを活用することで、目に見えない個人の感情や未来への期待などを可視化することができます。作品を通じて内観を語り、他のメンバーの物語を聴き、質問を行うことで、さまざまな内観に気付くことができました。



※本写真は一般的な研修のイメージです。

➤ 作品の完成度ではなく、**作品の背景にある思考、価値観、願望など**を改めて内省し、対話を通じて気づきを高めることが重要となる。

## <「第2期次世代介護経営者経営幹部養成塾」ご参加者がレゴブロックに込めた思い・価値観の一例>

- 自分が楽しく仕事する様子を「花」に表現した。
- 相手を知るためには、まずは相手の気持ちを知る心の「扉」が大切。
- 風通しのよい組織との「橋」渡しを目指している。
- 何かをはじめようとするれば、レゴの「犬」のように、必ずはばかり者が存在する。
- 「人」が持ち上げる様子は、助け合いを表現した。力を合わせて支えあうことが大切。
- 沢山の「人」のパーツを使い、多職種でさまざまな仕事・作業をしていること表現した。